

報道関係者各位

■ YCC ヨコハマ創造都市センターよりお知らせ ■  
・ RED ROOM #4 開催

RED ROOM #4 開催



YCC ヨコハマ創造都市センターでは、第4回目となるアート・ラウンジ「RED ROOM #4」を、2018年9月21日(金)・22日(土)19～23時の2日間、1929年建造のYCC ヨコハマ創造都市センター石造エントランスにて開催いたします。「RED ROOM」は、数ヶ月に一度だけ、1929年建造のYCC ヨコハマ創造都市センターの石造エントランス部分に「赤い部屋」が出現し、開催されるアート・ラウンジです。「RED ROOM」という名前が表すように、照明やインテリアなど、空間すべてが「赤」をテーマに構成され、ショウタイム、DJプレイ、バーカウンターでのドリンク提供など、誰もが気軽に楽しめるラウンジ・イベントとして開催されるものです。

「RED ROOM #4」では、アーティスト 高橋匡太と川口怜子が手掛ける「RED ROOM」の赤い空間に加え、フランスワ・アルデンテとチャンジャ・セモリナのふたりのドラッグ・クイーン、そして振付家・ダンサー:辻本佳、時空を旅する音楽家:LaLa(山中透)による1日3回のパフォーマンス・ショウタイムに加え、RED ROOMの空間内でのサプライズ・パフォーマンスも予定しています。前回よりもさらにパワーアップしたアート・ラウンジ「RED ROOM #4」にご期待ください。なお、今回よりアドミッション制(入場料1500円・ワンドリンク付き)となりますので、予めご了承ください。

お問合せ: YCC ヨコハマ創造都市センター (特定非営利活動法人 YCC)  
〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1  
TEL 045-307-5305 FAX 045-307-5322  
MAIL [press@yokohamacc.org](mailto:press@yokohamacc.org) / URL <http://yokohamacc.org>

皆さまと、再び「赤い部屋」でお会いできることを楽しみにしております。

<開催概要>

RED ROOM #4

日時: 2018年9月21日(金)・22日(土)19:00-23:00

※ショウタイム:19:45- /20:45- /21:45- (予定)

※上記の時間以外にもサプライズ・ショウを予定しています。

会場: YCC ヨコハマ創造都市センター 1階石造エントランス

入場: 1,500円(ワンドリンク付き)

※今回より入場料制となります。

アートワーク: 高橋匡太+川口怜子  
パフォーマンス: マダム・レッド(フランソワ・アルデンテ)  
レッド・ガール(チャンジャ・セモリナ)  
辻本 佳  
音楽&DJ: 時空を旅する音楽家(LaLa - 山中透)  
ドラマトウulg: 出口雨

主催:YCC ヨコハマ創造都市センター(特定非営利活動法人 YCC)

後援:横浜市文化観光局

特設サイト: <http://yokohamacc.org/redroom/>

アーティスト

高橋匡太 Kyota Takahashi

1970年京都生まれ。1995年京都市芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。東京駅100周年記念ライトアップ、京都・二条城、十和田市現代美術館、など大規模な建築物のライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたねプロジェクト」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」、「Glow with City Project」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。1995年キリンコンテンポラリーアワード'95最優秀作品賞、2005年京都府美術工芸新鋭選抜展2005最優秀賞、五島記念文化賞美術新人賞、グッドデザインアワード2005(環境デザイン部門)、2008年京都府文化賞奨励賞、2010年京都市芸術新人賞、DSA日本空間デザイン賞2015優秀賞、などを受賞。



川口怜子 Reiko Kawaguchi

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科造形工学専攻修士課程修了。2001年より美術家・高橋匡太のアートワークに参加。現在、同作家の作品制作における空間設計・色彩設計・演出助手など照明に関わる部分を担当。ソロワークとして、「forest; snow」(金津創作の森10周年記念ライトアップ、2006年)、「Emitting Scratch」(徳島LEDアートフェスティバル、2013年)を制作・発表。

お問合せ: YCC ヨコハマ創造都市センター (特定非営利活動法人 YCC)

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1

TEL 045-307-5305 FAX 045-307-5322

MAIL [press@yokohamacc.org](mailto:press@yokohamacc.org) / URL <http://yokohamacc.org>

パフォーマー



Photo: Kazuma Makino

フランソワ・アルデンテ Fransoir AL Dente

(ドラァグ・クイーン／パフォーマー)

1990年代半ば、姉マルゲリータ・アルデンテとともに“ブルーデーガールズ”でクラブデビュー。後にソロとなる。前衛色の濃いアンダーグラウンドなショーやメタル調のハードなステージングアクトから、いわゆるディーヴァ系の華やかな王道レビューまでそのスキルは幅広く、また、ジェンダーの枠にとらわれず男女両方の性を演じることができる、数少ないマルチパフォーマー。国内外の現代美術およびコンテンポラリーアートとの結び付きも強く、その方面でも精力的に活動している。横浜では、「スマートイルミネーション横浜 2015」のたてもののおしほ「塔(クイーン)は歌う」で初舞台。現在、京都を拠点に、GODA 企画「フランソワ・アルデンテの変身ワークショップ」や、来年1月の初演出作品など。美醜にとらわれず従来の型にはまらないそのメイクアップ技法、身長約190cmの美脚に一部の人々から熱い支持を得ている。

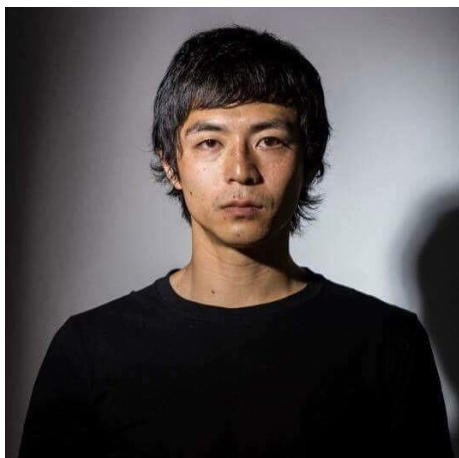


Photo: Kazuma Makino

チャンジャ・セモリナ Chanja Semolina

(ドラァグ・クイーン)

2016年デビュー。アルデンテ家のあとを追う身長約2メートルの美女。未知数を最大限に秘めた大型新人(かもしれない)。コンテンポラリーアートの周辺では、アーティストを支える技術者、デザイナーとしても定評がある。



辻本 佳 Kei Tsujimoto

(振付家、ダンサー、俳優)

1985年生まれ。三重大学生物資源学部卒業。2009年渡仏し、CCNC/BN、Company FATTOUMI LAMOULEUX「Just to dance」に参加。2013年より、柔道をベースとした身体操法についての研究を始める。故郷である紀州熊野にてフィールドワークを行い、採集した自然物、音、写真、身体感覚から、『Field Pray』と題して『#1 どうすれば美しい運動が生まれるのか。』『#2 擬態と遊行』を発表する。2016年やなぎみわ演出『日輪の翼』、あごうさとし演出『Pure Nation』に出演し、俳優としての活動を始める。



音楽・DJ



ララ - 山中透 LaLa - Toru Yamanaka

(DJ/作曲家/レコーディング・エンジニア/プロデューサー)

学生時代、京都を中心に実験音楽系のフィールドで活動し、マルチ・メディア・パフォーマンス・グループ「dumb type」の立ち上げに参加。創世記のメンバーとして、音楽と音響を担当。1989年よりクラブイベント「DIAMONDS ARE FOREVER」をシモーヌ深雪、故グローリアスと共にプロデュース。大阪、東京、名古屋、札幌、博多、新潟、仙台、N.Y.、マドリード、シドニー、パリ、ベルリンなど、世界各地のクラブで開催する。様々な分野の人々とも積極的にコラボレーションを行い、また勢力的にワークショップもこなす。近年の主な音楽監督の履歴としては、アジアを代表する演出家オン・ケンセンのカンパニー「シアターワークス」を軸に、BuBu、Monochrome Circus、じゅんじゅん Science、MuDA など、アートからダンス/パフォーマンスまで多岐に渡る。自身で立ち上げた foil-records の作品として、CD+DVD アルバム「flo+out (2007年)」、舞台音楽のリミックス作品集「Sextant (2012年)」などがある。

スクリプト



出口 雨 Ame Deguchi

(エッセイスト)

夏目漱石「夢十夜」や内田百閒「東京物語」をこよなく愛している。そこにはない空間や失われた時間に興味がある。過去のアーティスト活動から時をおいて、近年、文字によるクリエイションに目覚め、エッセイやパフォーマンス作品の脚本も手がけている。